

# 院内トリアージ実施基準

## 1. 目的

来院された患者の重症度、緊急度を判断し、優先順位を付けて、生命の危機的な状態にある患者を早期に発見し適切な 対応を行うことを目的とする。

## 2. 院内トリアージの流れ

トリアージは、患者来院後ただちに(10 分以内が望ましい)救急外来にてトリアージ担当者が行う。

- 1) 主訴の確認
- 2) トリアージレベルの判断
- 3) 問診

## 3. 判断基準(JTAS 準拠)

JTAS の緊急度判定は、青、赤、黄、緑、白の 5 段階に分類されている。

青は最も緊急度が高く、直ちに診察および治療が必要と判定される。

赤は緊急で、10 分以内に診察が必要なレベルであり、15 分毎に再評価を行う。

黄は準緊急で、30 分以内に診察が必要なレベルであり、30 分毎に再評価を行う。

緑は低緊急で、1 時間以内に診察が必要なレベルであり、1 時間毎に再評価を行う。

白は非緊急で、2 時間以内に診察、2 時間毎に再評価を行う

レベル	緊急度	治療・診察時間	症状	再評価の目安
レベル 1	蘇生(青)	直ちに診察・治療が必要	心停止 重傷外傷 痙攣持続 高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
レベル 2	緊急(赤)	10 分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛、腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自傷行為など	15分ごとの再評価
レベル 3	準緊急(黄)	30 分以内に診察が必要	症状のない高血圧 痙攣後の状態(意識は回復) 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛、腹痛 活動期分娩など	30分ごとの再評価
レベル 4	低緊急(緑)	1時間以内に治療が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷(止血済み) 不穏状態など	1時間ごとの再評価
レベル 5	非緊急(白)	2時間以内に診察	軽度のアレルギー反応 縫合を必要としない外傷 処方、検査希望など	2 時間ごとに再評価